

経済・金融の視点から見た圏域の考え方

2005.11.7

根本祐二

日本政策投資銀行

地球規模で地域が選別される時代

人の例

スキューバダイビングとリラクゼーション両方充実させたい(東南アジア・カリブ海にするか沖縄にするか)

観光集客は地球規模の競争

企業の例

アジア直行便を持つ空港から車ですぐの工場用地を探している(ソウル・台北空港近くにするか、千歳空港近くの苫東基地にするか)

企業誘致は地球規模の競争

投資家(お金)の例

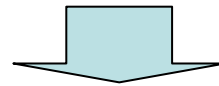
将来的に価値が保全される可能性の高い地域の歴史的不動産に投資したい(ローマにするか金沢にするか)

投資誘引は地球規模の競争

経済主体は地球規模で行動することで、国境の意識すら薄らいでいる。この状況下で、国内の地域をグループ分けすることの意味は何か。

地球規模で地域が選別される時代とは地域を無意味にしない

「地球規模で地域が選別される時代」とは、「生き残れない厳しい時代」ではない。



「知恵と努力で地球全体を市場にできる時代」と前向きにとらえよう。

経済主体の地球規模での行動は、最適化を図るための情報収集の末の結果。それぞれの地域が競争力を発揮することは競争に生き残るために必須。

競争力:個性の発揮

インバウンド観光への取り組み・オーストラリア観光客誘致（北海道倶知安町・ニセコ町）

フィンランドとの提携による健康福祉産業クラスター形成(仙台市)

金属洋食器のブランド化(燕市)

欧州建築家に注目される神田のまちづくり(東京都千代田区)

世界直結のベンチャーを育てる地域ビジネスモデル(京都市)

国際アニメーションフェスティバル(広島市)

阿波和紙の伝統技術を引き継いだ世界唯一の特殊紙製造(阿南市)

大学発の地域国際化・立命館アジア太平洋大学の試み(別府市)

トップクラスの評価を獲得したワイナリー(宮崎県都農町)

仙台フィンランド健康福祉センター

経緯: フィンランド政府が自国の介護・福祉産業の日本進出を企図。産学が集積、市場規模、気候風土の類似性等の観点から仙台市と協定。フィンランド型福祉の実践の場としての特別養護老人ホームおよび、フィンランド型介護・福祉産業の研究開発館を建設。



特別養護老人ホーム



リハビリ等による高齢者の自立支援

ADL(日常生活動作)レベルの改善・維持を目的とするリハビリテーション機器・流水プールを設置し、施設を利用されている方や地域の要介護前の高齢者の皆様に身体機能の低下を防止するための運動などを提案し、高齢者の自立支援を一緒に考えていきます。

研究開発館



フィンランド企業と地域の企業等が共同で健康・福祉関連の新サービス・新製品の開発を行います。館内には企業様向けの入居スペースや製品の展示スペースがあります。



プライバシー重視等による高齢者の尊厳の確保

入居者スペースの完全個室化、車椅子利用者でも利用しやすい機能性の高いトイレの設置によりプライバシーへ配慮しています。また、それぞれの高齢者の生活のリズムを尊重した介護を実施するとともに、ミニキッチンやサンルームを利用することで入所者が生活を楽しめる明るい雰囲気作りが配慮されています。

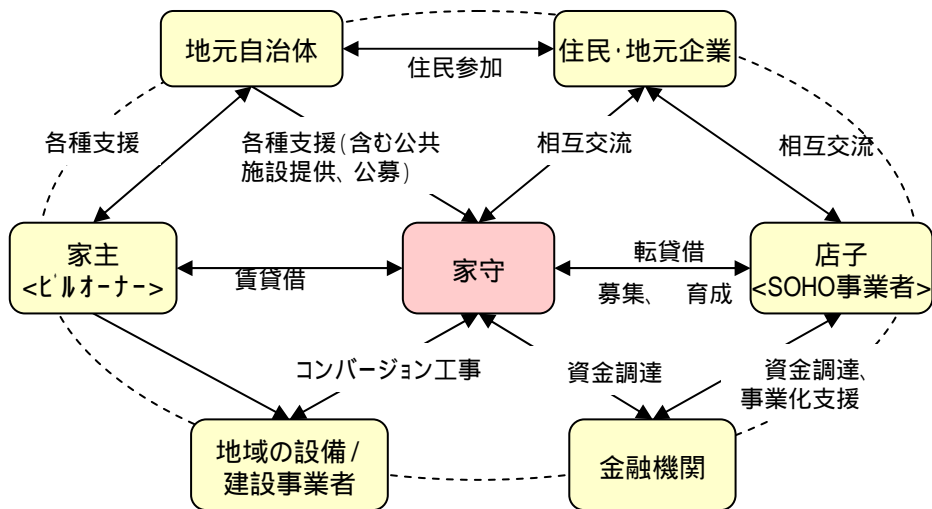


マネジメントオフィスには、企業・大学をサポートするために、フィンランド人、日本人のビジネス開発ディレクターが3名常駐しています。また、その他の4名のスタッフとともに入居企業に限らず地域企業のビジネスを支援しています。

SOHOコンバージョン家守事業(東京)

家守(やもり)とは?

家守とは、行政、地域住民と連携して、空きビル、空き室(含む遊休公共施設)を、従来と異なる用途に転換し、その地域に新たな経済の担い手を誘致・育成する民間事業者。



世田谷ものづくり学校(旧区立池尻中学校)・・・池尻 アイデアールプロジェクト
統合され廃校となった中学校廃校舎を民間事業者のノウハウを活用し、**ものづくりの拠点**として再生する事業。デザイン会社イデーが家守。



REN-BASE UK01(大蓄ビル)・・・神田 アフタヌーンソサエティ
家守提言に賛同した民間主導プロジェクト。空室化した中小オフィスビルの1フロアを民間事業者(青山在住の都市計画家)が賃借し、**建築・デザイン関係**の個人事業者の集積を図るべくSOHO用途にコンバージョンした。



新たな入居者を核に人が集まり



街もにぎわいだす

千代田プラットフォームスクエア(旧千代田区中小企業センタービル)・・・竹橋 プラットフォームサービス
稼働率の低下した公有資産を公募で選定された民間事業者(全国デジタルSOHO事業者協同組合有志)がSOHO拠点として一部整備し、域内の中小ビル連携を実現するための「家守」を育成する事業。**NPO支援団体、ベンチャー企業**等が入居。

老朽施設をコンバージョン



起業家が集うオープンな空間設計

競争力の前提：地域の信頼性の実現

- 地域課題への真剣な取り組み

- 地場産業や商店街の疲弊、治安の悪化や災害対応など地域ごとの個別の課題に対してどれほど真剣に取り組んでいるか

= 企業努力

- 地域の資産の保全と発展

- 自然、歴史、文化、景観など地域の資産を大切に保全し将来の世代へ引き継ごうとしているか

- 例：金沢、倉敷

= 企業ブランド



金沢市提供

- 公正さ、安全・安心の確保

- 社会的な規範を遵守しているか、地場産品や観光資源などを安心して消費できるようにしているか

- 例：温泉表示問題、焼酎・黒酢等食品のトレーサビリティによる由来・履歴の開示（鹿児島）

= 企業統治

経済主体に透明性のある
情報を開示できているか

ブロック単位の競争力

競争力を発揮している地域は、いずれも「点」の地域の競争力にすぎないように思える。

だが、そうだろうか？

仙台フィンランドプロジェクトは、単に、フィンランド政府の肝いりで仙台市が施設を建設したのではない。東北大学等の学が集積、東北各地の産業が集積等の圏域としての総合力が評価されたのではないだろうか。

SOHOコンバージョン家守事業は、単に、東京都心の空室対策ではない。東京に集まるさまざまな職種の人材の集う拠点創出へのニーズ、廃校舎や民間オフィスビルなどのインフラが一斉に更新期が到来したという首都圏広域の事情と無縁ではない。

海外からみた日本の“計画”の評価

経済行動とは、ある地域における将来像を具体的にイメージして行動すること。

投資とは、「現在の地域に資金を投下して、将来の地域から回収する」こと。

国土計画～都市計画に至る“計画”の不明瞭性、計画実現の可能性の低さは、残念ながら世界的に知られている。

地域の将来像が不明確ということは、投資リスクが膨大ということになる。その結果、投資対象からはずれる、あるいは、地域の将来計画と無関係・阻害する投資しかなされない。

地球規模での経済主体の行動を期待するためには、計画によって地域の将来ビジョンを明確にし、実現していくことが不可欠。

その意味で、経済・社会的に一体性を有する圏域ごとに将来計画が存在するのは当然。むしろ、ない方がおかしい。

ただし、それには経済合理性があり、実現可能であることが必要。

日本政策投資銀行 各地域の地域づくり活動中期ビジョン（概要）

DBJの立場として、こうした将来像を描き実現していくことが圏域としての生き残りに役立つとの認識の表明。圏域を重ねているのが特徴。一種類の圏域に限定するのは経済実態に合わない。

九州
東アジア経済圏をターゲットにした産業拠点（半導体、自動車等）と都市の集積促進
九州一体での観光の回遊性確保による地域活性化

北陸
地域で光る技術を活かしたモノづくりの基盤強化（富山・高岡、金沢・小松、福井・武生・鯖江等）
温泉、山岳観光資源に恵まれた地域性を活かした個性ある観光地再生・まちづくりの推進

中国
地縁技術と産業集積のブランド化による価値の創造
定住地としての魅力向上による観光再生と地域活性化

新潟
新潟県中越地震からの復旧・復興
新潟地域の特性を生かした新潟ブランド（都市・産業・観光ブランド）の形成

北海道
「観光」「食（農業・漁業）」を核とした新産業・企業の勃興支援
札幌都市圏の活力を活かした民間主導による自立的な北海道の創造

東北
先進的技術の事業化による産業クラスターの形成（北上川中流域、仙台、米沢等）と地域資源を活用した産業振興
ゆとりと生きがいに満ちた社会形成のための都市圏整備と環境と共生する地域づくり

北関東・甲信
地域産業・地域金融機能の再生による地域経済再生・活性化
我が国をリードする高度な研究機能・産業集積の活用による地域産業競争力強化、新産業創出、地域金融・産業プラットフォームの共創（つくば、諏訪地区等）

首都圏
世界的競争力をもった都市圏としての日本経済の「牽引」
全国で応用可能な地域課題解決への「挑戦」（東京湾臨海部の低未利用地、都心空洞化、安全・安心のまちづくり等）

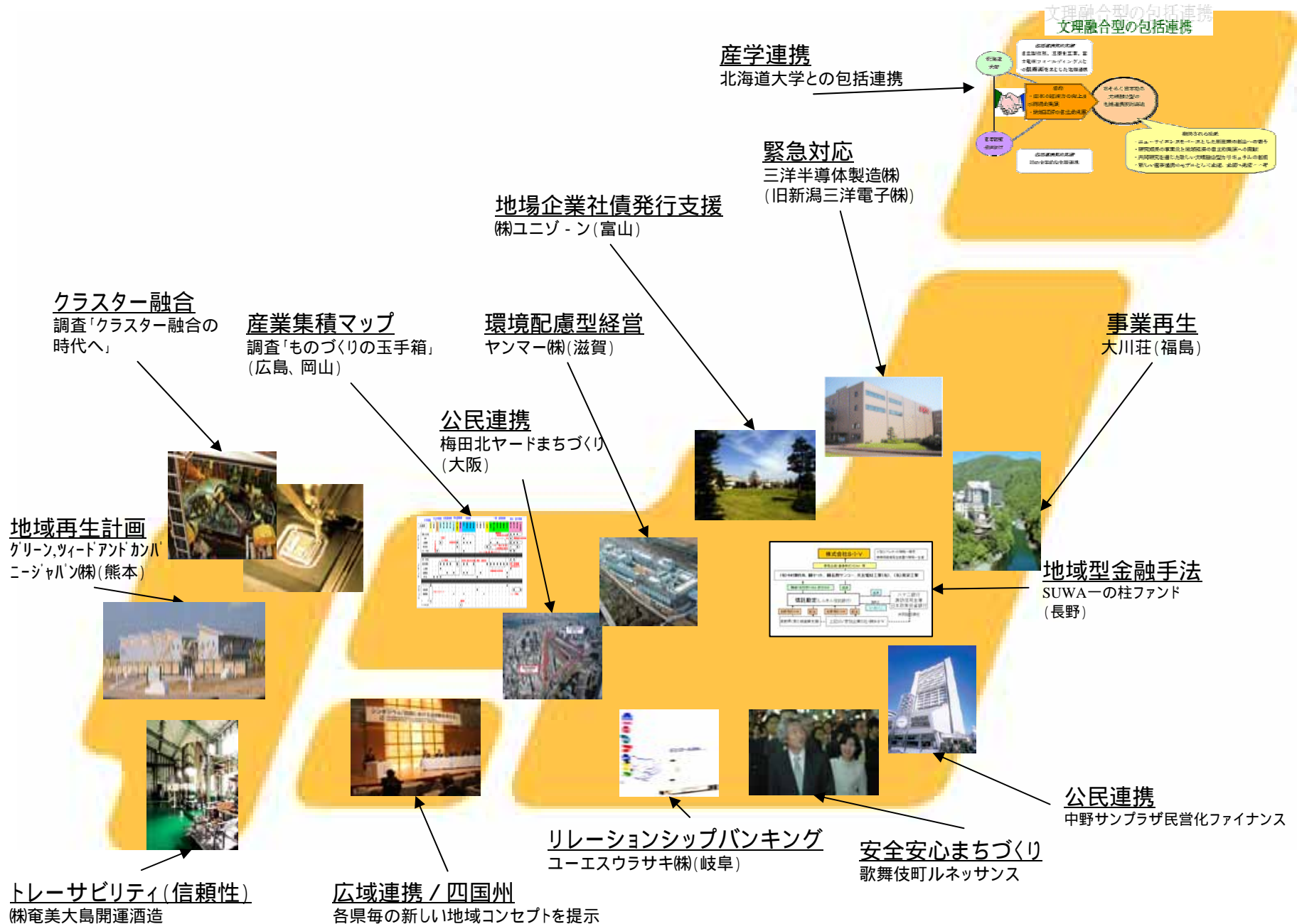
南九州
トレーサビリティを通じた「信頼性」を重視する新しい地域モデルの構築
新幹線を契機とした、信頼できる「ヒト」「モノ」「マチ」「カネ」づくり

四国
全国に先駆けた少子高齢化に対応したコミュニティの実現
道州制に関する調査提言などを通じた地方分権の推進

関西
「環境」と「技術」に優れた関西産業の潜在力を活用した「二重の空洞化」の解決
「民主導」の伝統を生かした公民連携プロジェクトの推進

東海
二大プロジェクト（空港、国際博）後の持続的活力の発揮
地域資源の有効活用と環境や防災への配慮を通じた、世界に誇れる「豊かさ」と「信頼」の実現

日本政策投資銀行 各地域の地域づくり活動



キーワード

地域が将来ビジョンを持ち、計画にすることは当然。

さもないと、地球規模での競争に置いて行かれる。経済主体にとっては、将来リスクが大きいから。

具体的な計画。

経済合理的な計画。

実現可能性の高い計画。

圏域はユニークー通りではない。

ことがらに応じて、圏域の範囲が変わるのは当然のこと。

大都市圏からの同心円構造は一つの経済合理的な考え方。
(広域首都圏、広域関西圏)